

2020. 8. 4

Report from AKATSUKA PARK

赤塚公園武蔵野台地崖線 植物モニタリング活動

梅雨は明けても
コロナは去らず！
熱中症にもご用心を！

8/3 の環境省熱中症予防サイト→
モニタリング開始時の午前9時で
早くも「警戒」、午後になると
「厳重警戒」で屋外の活動は避け
たほうが良いという大変な季節を
迎えています。



くさほう ざっそう やさう
同じ草原でも「**雑草**」と見るか「**野草**」と

見るかで、違うものが見えてくる



←サービスセンター建屋の南側、テニスコート前の草地。ふつうに見ると草ぼうぼう。でも、そこには**キツネノボタン**の群落がありました →
茎に毛が生えている**ケキツネノボタン**は普通に見られるのですが、毛がない**キツネノボタン**は赤塚公園広しといえども最近ではここだけ。貴重品です。



←城址地区の北側。生物多様性保全のために常緑樹が刈られて明るくなった林縁は**ヤブミョウガ**の林状態。その奥に**キツネノカミソリ**がきれいに顔をのぞかせています。整備工事の効果ここにあり →



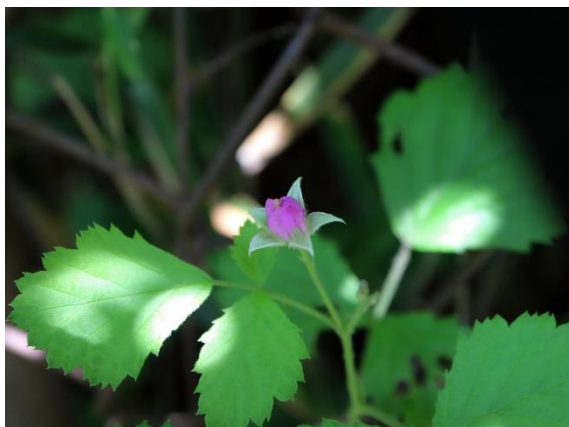


大門地区の西の外れ、東屋のあるエリアはニリンソウの自生地でもないし、ケヤキとユリノキなどの落葉樹の大木だけでなく常緑樹のカクレミノなどが茂っていて、地面は暗

く、貴重な草は生えていないよなただの草原。人気がないスポット。なのに、8/3のモニタリングでは**ハグロソウ**の群落を発見。これ、ピンクと白の花がとても美しい野草で、赤塚公園以外では観られない貴重なもの。これまでは夏のニリンソウ自生地に茂っていたのですが、それが西のほうへぐんと生育域を拡大してきたわけです。

なんでもない「雑草」ばかりと思われる場所でも、地面が露わになるような強度の草刈りを行わなわず、人が踏み荒らさないでいると、「自然」が復活してくるものなのです。

赤塚公園でしか見たことがない植物といえば・・・**ナワシロイチゴ**



赤塚公園の一角の目立たないところに生育しています。花は小さいし、開花期が短いので、まともに咲いている写真は撮れていないのです

が、この植物が他の場所で元気に生育しているのが見つかりました。

月に3回の頻度で赤塚公園の植物観察を始めて5年目になりますが、これまで気が付かなかったのかもしれませんが。来年春の開花が楽しみです。

このように毎回のように新しい発見に遭遇するのがモニタリング活動です。

**昆虫や野鳥に関心のある方もどうぞ！
教えてください！
みなさまのご協力・ご参加をお待ちしています**

モニタリング活動は基本的に第一、第二、第三月曜

9:00、赤塚ため池公園梅林下スタート

お問合せは赤塚公園サービスセンターまで

☎ 03-3938-5715

